



秋を刈る

秋風をいっぱいはいらんだ金色の穂が、重そうに頭を垂れながら波をたたせている。

このころになると、どこもかしこも黄金のジュータンを行き来するエンジンの音で活気に満ち満ちる。

鎌で刈り、オダに掛けて稲干す秋の風情もしだいに姿を消す昨今である。学校帰り、稲架や群稲棒むらむらぼうに隠れて鬼ごっこも遠い遠い懐かしい思い出のよう。

空には一面鱗雲が覆い、澄みきったのどかな秋の田園風景も、もう晩秋のよそおいを香らせている。

もみを満載したトラックが、長い影を落として通りぬけていった。

10月のおもな行事

- 1日 昭和57年就業構造基本調査日
- 1日 第7次漁業センサスフルドレスプリテスト調査日
- 5～8日 県民経済計算担当者研究会議(静岡県)
- 5～6日 農業基本調査三県事務打合せ会(群馬県)
- 13～14日 消費動向調査関東ブロック会議(群馬県)
- 18日 第24回茨城県統計大会(大洗町)
- 19～22日 全国統計教育担当者会議(静岡県)
- 20～21日 関東五県課長会議(大洗町)
- 21～22日 鉱工業生産指数事務打合せ会(神奈川県)
- 21～22日 商業統計調査実務担当者会議(北海道)
- 28日 第33回全国統計大会(石川県)